

奨励度・難易度は、Aが最も高い

在学中に受験可能な資格試験	資格			試験日・申込期間	奨励度	難易度	大学での支援内容		問い合わせ先・ホームページ	備考
	資格名	概要	種別				(受験資格・受験料など)			
	支援内容	内容、または科目								
技術士一次試験	技術士一次試験は、公益社団法人日本技術士会によって行われる試験です。技術士資格を取るために、この一次試験に合格する必要があります。		申込受付期間：6月中旬～6月下旬頃 筆記試験：11月末頃	A	A***	振動工学 流れ学 材料力学 工業熱力学	専門科目120分 適性科目 60分 基礎科目 60分	(公社)日本技術士会 〈学内〉安坂	(受験資格) 特に制限はない。	
機械設計技術者(3級)	新人の機械設計技術者に受験の機会を提供し、資格の称号を与える。学生に受験の機会が提供されることにより、学校における勉学と連結され、目標ができることにより機械設計能力の向上が期待される資格		試験(予定) 2026年度は11月15日(日) 受付期間：7月下旬から10月上旬	A	A***	機構学 機械要素I、II 力学I、II 機械材料 材料力学I、I演習 流体工学 工業熱力学I、I演習 機械製図 機械加工学	機構学・機械要素設計、流体工学、工作法、機械製図(120分)と材料力学、機械力学、熱工学、制御工学、工業材料(120分)の8科目240分。マークシート方式、ホームページに過去の問題あり。	(一財)日本機械設計工業会 TEL：03-6222-9310 〒104-0033東京都中央区新川2-6-4 新川エフ2ビル4F申請はホームページから 〈学内〉安坂	(受験資格) 特に制限はない。	
CAD利用技術者 3次元(2級・準1級・1級) 2次元(基礎・2級・1級)	パーソナルCADシステム利用技術の普及と高度化を目的とする技術者試験。設計製図業務に従事する者にとっての資格。		2次元CAD 一級：筆記と実技(80分)二級：筆記(60分) 基礎：筆記試験(50分)	A	B**	機械製図 機械要素I、II 機械CAD実習I、II	実技・学科 ホームページに参考文献あり	(一社)コンピュータ教育振興協会 TEL：03-3560-8437 〈学内〉安坂	(受験資格) 2級、基礎は制限なし。 1級は2級有資格者。	
中古自動車査定士	中古自動車査定基準に基づいて、中古車の査定を行うために必要な資格。小型車査定士(普通運転免許以上を保有)と大型車査定士(大型第一種免許以上を保有)の2種類があるが、いずれも運転免許を保有していることが必要。		受付：9月初旬～10月初旬 研修：11月中～下旬 試験：12月中旬 試験日：3月、7月、11月	A	B** 合格率80%以上	自動車工学I、II 自動車整備I、II 自動車整備実習I、II 自動車法規	学科試験 ①中古自動車査定制度 ②中古自動車査定基準 ③自動車の構造・機能・取扱い ④保安基準、法規実技試験査定の実技	(一財)日本自動車査定協会本部 TEL：03-5776-0901(代) 福井県支所 TEL：0776-34-1624 〈学内〉位田	(受験資格) ・自動車運転免許保有者が対象 ・在学中に受験可能 ・要研修	
技能士(機械加工)	技能検定は、「働く人々の技能を一定の基準により検定し、国として証明する国家検定制度」。検定は職種によって分類され、その中の機械加工はさらに作業の種類によって分類されている。検定は難易度によって4段階に分けられ、合格者は技能士を称することができる。		試験は年2回。詳細はホームページで確認のこと。 前期実技：6月中旬～9月上旬学科：7月末～9月上旬 後期実技：11月下旬～ 翌年2月中旬学科：1月末～2月中旬	A	B**	機械工学実習 機械加工学 機械材料 機械製図 機械要素I、II	実技・学科 ホームページ参照	各都道府県職業能力開発協会福井県 〒910-0003福井市松本3-16-10 TEL：0776-27-6360 〈学内〉安坂	実務経験は3級および2級には必要なし。 3級は在学中でも受験可能。 2級は3級合格後受験可能。	
危険物取扱者(甲種・乙種)	発火性、引火性の強い危険物を製造、貯蔵、取扱をする場所で保安・監督する。		試験の種類、各都道府県によって期日、回数異なる。 ☒	A	合格率35%程度 C～B*	基礎化学	専門知識・法令	(一財)消防試験研究センターの各都道府県支部又は消防署 TEL：0776-21-7090(福井県支部) 〈学内〉安坂	(受験資格) 乙種は在学中でも受験可能	

注)難易度欄 * 1、2年次で受験でき、さらに上級資格に繋がる比較的取得し易い資格
 ** 就職に有利な資格で3年、4年前期に受験して欲しい資格
 *** 難易度が高く、優秀な学生に取得推奨(特に就職活動に有利な資格)

奨励度:特別(補習授業実施)についてAが高い 難易度:Aが高い **,** ** * マークについては下記参照

卒業後に受験可能な資格試験(実務経験・要)	資格			試験日・申込期間	奨励度	難易度	大学での支援内容		問い合わせ先・ホームページ	備考 (受験資格・受験料など)
	資格名	概要	種別				支援内容	内容、または科目		
	自動車整備士 (一級・二級・三級)	4輪及び2輪自動車の点検、調整、整備をするいわば車のお医者さん。					検定試験の学科試験は年2回、実技試験は8月と2月の年2回であり、登録試験の学科試験は3月と10月の年2回。 筆記試験:11月末頃	A		
ボイラー技士 (特級・一級・二級)	取扱えるボイラーの規模によってボイラー技士の資格が違うが、ボイラーを取扱う業務に必要。		特級:年1回 一級:月1回 二級:月2回	B	実技講習会に出席すれば、二級は容易に取得: C 一級はA	工業熱力学	①ボイラーの構造 ②ボイラーの取り扱い ③燃料及び燃焼 ④関係法令	(公財)安全衛生技術試験協会 近畿:TEL:0794-38-8481 中四国:TEL:0849-54-4661 (一社)日本ボイラ協会福井支部 TEL:0776-26-4581	(受験資格) (1)特級 卒業後、2年以上の実地修習 (2)一級 卒業後、1年以上の実地修習及び二級合格者に対しては、一級受験資格が得られる。しかし免許証の交付は、3年の実務試験を必要とします。在学中でも受験可能。	
ガス溶接作業主任者	アセチレン溶接装置やガス集合溶接装置を使って金属の溶接・溶断、加熱などをする作業の指揮をとり、災害防止につとめる業務に就くための資格		地区により4月と10月、または6月と12月。	B	B	機械加工学 材料力学 機械実習	①アセチレン溶接装置およびガス集合溶接装置に関する知識、 ②アセチレンその他の可燃性ガス・カーバイドおよび酸素に関する知識 ③ガス溶接などの業務に関する知識、 ④関係法令	(公財)安全衛生技術試験協会 TEL:03-5275-1088	(受験資格)卒業後、1年以上の実務経験。 ガス溶接は国家資格と民間資格がある。 国家資格:ガス溶接技能者、ガス溶接作業主任者、ボイラー溶接士、 民間資格:日本海事協会船舶溶接士、日本溶接協会のJIS溶接工、日本溶接協会のJIS半自動アーク溶接技術検定、日本溶接協会のステンレス鋼溶接技術検定etc	

(注)すべて卒業後、実務経験が必要になります。